

2013年7月20日～21日 TAJ 自前バスパック神割崎仮設交流会

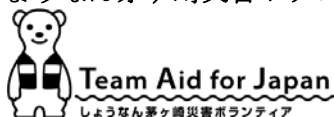
今回の活動は、活動費を少しでも節約するため、バスの運転も TAJ メンバーが担いました。今回の参加人数は22名。活動場所は今までお邪魔したことのない神割崎仮設住宅です。神割崎では夕方からのこういった企画は初めてだそうです、日中お仕事に出ている方々にもご参加いただく事ができとても喜ばれました。南三陸町到着後まずは防災庁舎へ向かい献花、線香を手向け黙祷。当時の記憶を改めて思い起こしました。その後チリより新たに送られたモアイ像、さんさん商店街をしばし見学してよいよ神割崎へ。到着後にまずはキャンプ場へ受付を済ませ早速荷下ろし、平行して先着していた新潟県小千谷のボランティアグループとともに仮設住宅の敷地にて交流会の準備を行いました。集会所をお借りしてのマッサージと平行しての交流会は和やかなうちに進み、用意していたフラダンス・ウクレレ演奏・落語・さらには予定外の久我豪くんによるソーラン節の凛々しい演技も加わり大盛況でした。特にフラダンスでは神割崎町民の方々にも積極的にご参加頂き、こちらもとてもうれしく思いました。



初めての仮設住宅なので、マッサージを受けてくれるか少し心配していました。マッサージスタッフは3名。最初に受けていただいた方が、「マッサージ、気持ちよかったよ～」と他の方に言っていたので、多くの方が来てくださいました。仮設住宅には、時々マッサージなどの巡回が昼間に来るそうですが、30～50代の方は、普段働きに出ているので、マッサージを受けることはないそうです。今回の交流会は、夕方から開始したので、仕事終わりにマッサージが受けられてうれしいと喜んでおられました。仮設住宅の生活も2年。未だに慣れないそうです。圧迫感があり、夜も眠れない方もいらっしゃいました。また、集会所があっても、なかなか集まることもなく、不安や弱音を抱え込んでしまう様子が見受けられました。今回の交流会を通じて、多くの方に喜んでいただくことができました。これからも末長くお付き合いしたいです。

キャンプ場ではロッジでの宿泊(一部テント)で清潔で快適でした。翌朝は朝食を三浦さき子さんの慶明丸にていただきました。まさに心づくしのお料理の数々、とても朝食とは思えない豪華さで感激しました。その後は阿部民子さんのご主人の船と佐々木誠さんの船に乗せていただき各種の養殖場を見学させて頂きました。あくまで漁業に関して言えば、少しずつかもしれませんが着実に復興が進んでいる様子を直に感じられ、微力ながらもボランティアとして南三陸町で活動した身としては感じ入るものがありました。最後に今一度さんさん商店街に立ち寄り帰路へ、無事帰着





しました。今後の課題として現地の施設の位置関係や設備の把握があげられます。今回各種料理はキャンプ場のかまどを使用して調理したものを仮設の交流会場へ運ぶ手はずでしたが、両者が思いのほか離れており効率の面で問題がありました。またキャンプ場内の街灯がまだ修理されていなかったため夜間の移動や作業に支障がありました。これらはあらかじめ分かっていたら前もって対処できる類の問題と思われるので今後に生かしたいと思います。

今回は自前のバスでの初の企画であり、無事に帰ってくれば大成功と考えてましたが中身は相当濃くとても有意義に感じました。特に神割崎の方々とお話する機会が多く、また一段と交流が深まったと実感してます。頻繁にすることは難しいとは思いますが、定期的に行いたいと思います。



「2013年7/20～21日 TAJ 自前バスパック神割崎仮設交流会」支援収収支報告

参加費 (バス代 4000 円 x22 名、キャンプ宿 1000 円 x22 名、朝食 1000 円 x21 名)131,000 円

収入	
バス代参加費	88000
朝食費集金	21000
宿泊費集金	22000
TAJ 資金から	95208
<b>合計</b>	<b>226208</b>
支出	
イベント保険	4830
バス,ガス,高速	83886
現地へ土産	3150
朝食代	22000
宿代	30700
交流会材料費	76537
献花雑貨費	5105
<b>合計</b>	<b>226208</b>

以上 Team Aid for Japan ～ しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア

